

平成27年度くるくるバス利用促進協議会 議事録

日 時 平成27年12月15日（火） 午後4時から午後5時まで

場 所 碧南市役所2階談話室3

出席者 利用促進協議会委員 14名

事務局 5名

傍聴者 5名

会議内容

1 経済環境部長あいさつ

議題前にくるくるバス概要について商工係長より説明。

2 報告事項 くるくるバスの利用状況について（資料1）

3 議題 ルートの見直しについて（資料2）

<質疑応答>

委員 大浜南部のルート案について、もっと大回りをして広い道路から抜けることはできないか。

事務局 運転士からは、今回のルート案の方が安全とのことだった。また大回りコースだと公園の横を通ることから飛び出し等の可能性もある。

委員 大きい道路にでてくる交差点が意外と出にくい。

事務局 北側、南側を旋回するルートも含めて運転士と再度調整する。

委員 バス停の位置についてはこれでよいと思う。

委員 今回のコース変更によるダイヤへの影響は。

事務局 1、2分ときいている。

委員 下山バス停の近くに二ツ山住宅がある。少しでも公営住宅の近くに設置を考えてもらえれば。

→バス停の位置については承認。ルート等については事務局に一任する。

また併せて事務局より追加で説明のあった、たんトピアバス停のみどり5便（17：52）を通過する案についても承認。

4 意見交換等

委員 天神町の事故についての経緯は。また、危険箇所を避ける等のルートを選定しては。

事務局 (今年8月の事故経緯説明)

事故の多発地帯については、警察より情報提供をいただきながら調整を図っていく。今回のルート変更もその1つ。

委員 ルート変更の際は地域の人に乘っていただいてから意見をきくようにした方がよいと思う。

委員 要望地区の町内会長や代表の人に乘ってもらうのは良いアイデア。

事務局 今後、そういう機会があれば対応させていただきたい。

委員 バスにかかる費用は。

事務局 バスの運行委託が年間4000万円弱。加えてバスの更新があった場合には1台あたり1000万円、別途ガソリン代がかかる。

委員 費用面でも環境面においても、どう整合性を図るかが課題。

事務局 高齢者、障害者利用をメインとした福祉施策的な部分もある。

委員 乗りこぼしのタクシー送迎は、そこまでやる必要があるのか。前回の協議会でも常習犯についての意見があった。

事務局 乗りこぼれは年々減っており、引き続き事務局でチェックする。また費用面についても公表するなど透明性を持って行う。

委員 利用人数が市民7万人の倍。効率的に運用されている。継続が必要。

委員 CS地区ミーティングで西尾市のバスとの接続について意見がでた。HP上で地図からバス停がわかる工夫や、バス停の正しい位置情報がほしい。(要望)

事務局 参考とさせていただく。

委員 今後地区の意見はどのように吸いあげればよいか。

事務局 連絡委員幹事会の資料の中でも、くるくるバスに関することは商工課と記載させていただいている。

委員 せっかくこういう機会があるなら、もっと活用してもらい、より良いものにしたい。地区の会議で吸い上げられるようにしてテーマをだしていただくと良いのでは。